



大御尊御守

大御尊

皇業集 (第一集)

時局変化名

天照天皇

大日

天降之地 (奉納本は聖地)

日本国 皇業集

高美郡 千代田

成二八〇番地

昭和十八年十月十四日

犬神神社

日本国 熊本県

甲佐町

皇業集 皇業集



—— 前 述 ——

当犬神神社

の  
御  
祭  
神  
は  
雷  
電  
神  
様  
と  
言  
わ  
れ  
ま  
す。

豊後豊前地方方には身心して清浄意識いたなげましよう。

早き時方はその場にて重々体験 体感 見聞かたります。

当犬神神社 犬神様 重々筆 広布(布教・宣伝)の目的は ①

ある迄の知らない人との 重々 世界と題材と成り 重々筆

(重々筆 重々心む) 重々力ともちまして

世界の人と大救いのインターネット 救済、これが

目的です。

※ インターネット上の不都合発生時等と考慮致しまして 自筆原文集(コピー)

販売を致しませう。 清希望の地方々は 犬神神社 へ 御申し下さう。

くめしくは 当宣言 後述 三十四ページと 御覧下さう。

犬神神社 広報課

— 世界（人類）対象に「犬神」靈験 靈符 と

インターネットを通じて全世界に現れます。

あなたも清 試 し下さい。世界人類対象の

靈験 あらたかな 靈験 靈符 です。

※ 早い方は その場にて 靈験 キセキ といただけます。

— 靈験 キセキ いたなき方、清 試 し方後 —

②

次ページの「犬神」靈験 靈符 と点線よりハサミにて

切り取り、身体に悪い所とおもちの清方は身体が悪い所

に「静」かにあて

「犬神」様 靈験 給 まう 犬神様 靈験 給 まう

※ 早い方は その場にて 靈験 キセキ と 外 験 末 感 受 取 得 ま す。

※ 早い方は その場にて 靈験 キセキ と 外 験 末 感 受 取 得 ま す。

※ 早い方は その場にて 靈験 キセキ と 外 験 末 感 受 取 得 ま す。

※ 早い方は その場にて 靈験 キセキ と 外 験 末 感 受 取 得 ま す。

※ 早い方は その場にて 靈験 キセキ と 外 験 末 感 受 取 得 ま す。

※ 早い方は その場にて 靈験 キセキ と 外 験 末 感 受 取 得 ま す。

※ 早い方は その場にて 靈験 キセキ と 外 験 末 感 受 取 得 ま す。

※ 早い方は その場にて 靈験 キセキ と 外 験 末 感 受 取 得 ま す。





# 犬神運慶

(切り取り点線)

(切り取り点線)

# 犬神運慶

(切り取り点線)



(切り取り点線)

。 身体(秀状)に  
あゆむ一日一回  
二日肉又は七日肉  
又は三十一日肉と  
清祈願なすてお  
よろしいです。

③

。 身体の“秀”以外の清祈願事項と清望みの清方は当“運慶”に  
線香三本となかれ

犬神様 清運慶 給もうと 三回以上 暗えられ 清祈願  
事項と “真剣” “一心” に 祈念 なさつて下さい。  
清祈願日数は可なり自身にて あきめ下さい。

参考日数(三日肉、七日肉、三十一日肉、一〇〇日肉、他)

。 清祈願事は “人の道” にかんう 清祈願事 である事  
が 必要です。

※ 当<sup>レ</sup>犬神<sup>ニ</sup>聖<sup>ニ</sup>發<sup>ス</sup>聖<sup>ニ</sup>符<sup>ハ</sup> 法<sup>ニ</sup>益<sup>シ</sup>は 法<sup>ニ</sup>人<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>願<sup>ハ</sup>の事<sup>ニ</sup>に  
限<sup>リ</sup>ら<sup>ズ</sup>。ニ<sup>ラ</sup>以<sup>テ</sup>立<sup>テ</sup>の法<sup>ニ</sup>新<sup>ニ</sup>願<sup>ハ</sup>は「ガ<sup>レ</sup>」で<sup>ス</sup>、

ニ<sup>ツ</sup>目<sup>ヨ</sup>り<sup>テ</sup>の法<sup>ニ</sup>新<sup>ニ</sup>願<sup>ハ</sup>聖<sup>ニ</sup>符<sup>ハ</sup>は 各<sup>々</sup>自<sup>ラ</sup>の 個人<sup>ノ</sup>専<sup>ニ</sup>用<sup>ト</sup>  
聖<sup>ニ</sup>符<sup>ハ</sup> (存<sup>ニ</sup>料<sup>ト</sup>) と<sup>リ</sup>あ<sup>リ</sup>ま<sup>ス</sup>

犬<sup>ノ</sup>神<sup>ノ</sup>社<sup>ニ</sup>は 法<sup>ニ</sup>申<sup>シ</sup>下<sup>サ</sup>さ<sup>ス</sup>。

※ 無<sup>ニ</sup>料<sup>ト</sup>聖<sup>ニ</sup>符<sup>ハ</sup>は 法<sup>ニ</sup>益<sup>シ</sup>聖<sup>ニ</sup>符<sup>ハ</sup> (一<sup>ノ</sup>願<sup>ハ</sup>の事<sup>ニ</sup>) のみ<sup>ニ</sup>で<sup>ス</sup>。

※ 聖<sup>ニ</sup>符<sup>ハ</sup>に<sup>テ</sup> 聖<sup>ニ</sup>發<sup>ス</sup>キ<sup>セ</sup>の法<sup>ニ</sup>利<sup>益</sup>一<sup>ノ</sup>法<sup>ニ</sup>陰<sup>ト</sup>

い<sup>タ</sup>だ<sup>ニ</sup>か<sup>レ</sup>ま<sup>シ</sup>た<sup>レ</sup>法<sup>ニ</sup>方<sup>々</sup>に<sup>テ</sup> 法<sup>ニ</sup>志<sup>シ</sup>と<sup>リ</sup>奉<sup>ニ</sup>敬<sup>ト</sup>  
い<sup>タ</sup>だ<sup>ニ</sup>り<sup>ま</sup>す<sup>レ</sup>法<sup>ニ</sup>方<sup>々</sup>は 改<sup>メ</sup>の口<sup>ニ</sup>座<sup>ニ</sup>番<sup>号</sup>に<sup>テ</sup>法<sup>ニ</sup>振<sup>ル</sup>  
下<sup>サ</sup>さ<sup>ス</sup>。

④

犬<sup>ノ</sup>神<sup>ノ</sup>社<sup>ニ</sup>

神<sup>ノ</sup> 義<sup>ノ</sup> 弘<sup>ノ</sup>

郵<sup>送</sup> 記<sup>号</sup> (一七二〇〇)

番<sup>号</sup> (二八六八二七七一)

皇天大神神社は



の神社です。

~~皇天示現法~~と致しましては

各種祈願御書と

「ある方の知らない」



人の御書



と

願います 皇天御書 教示

(インターネット発信)と元と成ります。

各種祈願御書とは

人の諸々の願ひ事と祈願御書(有料)と通じ法利益  
法陰と願ひます(皇天御書発信は郵復)

「ある方の知らない」



人の御書



と

皇天御書 教示は 教示と各自 実行 努力する事に  
より 法利益 法陰と願ひます。

⑤



あるなり知るなり ~~犬~~ と人の ~~重~~ ~~象~~ ~~と~~ ~~界~~ ~~と~~ ~~一~~ ~~筆~~

人の身に ~~重~~ 有るがごとく 犬の身に ~~も~~ 人の身 ~~同様~~

~~重~~ 有り、 ~~水~~に ~~水~~の ~~神~~ ~~在~~ ~~る~~ ~~が~~ ~~ご~~ ~~と~~ ~~く~~  
山は ~~山~~の ~~神~~ ~~在~~ ~~る~~ ~~が~~ ~~ご~~ ~~と~~ ~~く~~

輪廻 ~~転~~ ~~生~~ の ~~教~~ ~~え~~ ~~あ~~ ~~る~~ ~~が~~ ~~ご~~ ~~と~~ ~~く~~

その犬、あの犬、 ~~あ~~ ~~な~~ ~~な~~ ~~り~~ ~~犬~~ ~~前~~ ~~世~~ ~~は~~ ~~人~~ ~~で~~ ~~あ~~ ~~り~~ ~~な~~ ~~り~~ ~~も~~、  
今世の ~~身~~ ~~は~~ ~~犬~~ ~~の~~ ~~身~~ ~~で~~ ~~も~~ ⑥

身の中身、成る ~~重~~ ~~は~~ ~~人~~ ~~の~~ ~~重~~ ~~や~~ ~~神~~、  
人に ~~生~~ ~~重~~ ~~死~~ ~~重~~ ~~有~~ ~~る~~ ~~が~~ ~~ご~~ ~~と~~ ~~く~~ ~~犬~~ ~~は~~ ~~も~~ ~~生~~ ~~重~~ ~~死~~ ~~重~~ ~~有~~ ~~る~~、

人に ~~喜~~ ~~情~~ ~~喜~~ ~~怒~~ ~~哀~~ ~~樂~~ ~~有~~ ~~る~~ ~~が~~ ~~ご~~ ~~と~~ ~~く~~  
犬にも ~~喜~~ ~~情~~ ~~喜~~ ~~怒~~ ~~哀~~ ~~樂~~ ~~有~~ ~~る~~、

人に ~~重~~ ~~力~~ ~~有~~ ~~る~~ ~~が~~ ~~ご~~ ~~と~~ ~~く~~

犬にも ~~重~~ ~~力~~ ~~有~~ ~~る~~、



有る成り。

犬には人に「幸」「不運」と与える運力有るや

スバリ、  
犬には金運、射運、与えられる運力有るや  
スバリ、  
一部の犬には有る成り、

スバリ、  
犬に運力運発、契りせる能力有るや？  
有る成り、

さて  
人の運力、犬の運力、いづれも運力が強いや、  
スバリ、  
犬の運力が強いの成り、



身は同じ犬の身で有りてお身の運(前世、又天か地)に  
ありて現るも運力の違ひ有り。

あつた、その犬、あなたの方の犬の、  
又、運の、あつた、(天・地)は、いづこ、?、  
?、  
?、

人の運命に犬は、  
最響言、有るのか、  
有り、  
有り、  
?

⑧

“犬と人” 深く、  
運の、  
因縁、  
関係、  
有り、

人は犬運と知るべし、  
運に、  
故、  
あらば、  
犬の神、  
最響言、  
大、  
有るが故、  
有り、

犬の神、  
最響言、  
大、  
有るが故、  
有り、

運筆を用い、  
ある方の知らるる、  
犬と人の運、  
世界と人類に  
教え示し、  
行へ、  
運筆、  
神、  
有り、

あゝ、犬に <sup>いぬ</sup> <sup>が</sup> <sup>み</sup>  
人類は身にて知り 弁けるあり。  
在り。

時の世は西暦二〇〇〇年一世紀末  
二一世紀と目前と成し突如 インターネットに

~~犬~~ <sup>いぬ</sup> <sup>が</sup> <sup>み</sup>  
出現！

るに故？！

~~重~~ <sup>おも</sup> <sup>人も</sup> <sup>い</sup> <sup>れ</sup> <sup>行</sup> <sup>く</sup> <sup>時</sup> <sup>代</sup>  
重も <sup>い</sup> <sup>れ</sup> <sup>行</sup> <sup>く</sup> <sup>時</sup> <sup>代</sup>

犬の ~~重~~ <sup>いぬ</sup> <sup>が</sup> <sup>み</sup> は 犬守り、？！ に出現！

人こそ 犬の共生、……いついつ迄も 續いてほしものなり。  
犬の幸、不幸は人次第。  
人の幸、不幸も ~~犬~~ <sup>いぬ</sup> <sup>が</sup> <sup>み</sup> 次第、  
？！

犬神 無言にてつとく、  
世の犬達よ 地土の犬達よ 今は無言の犬達よ、  
書らざるな あらざるな、  
共につらくなるが故……？

犬神 …… 犬の守りと通じ、世の救い神かも？

人は知るよし、  
犬は力は、  
念 ~~念~~ 根す ~~好~~ ~~り~~ ~~は~~  
と化し 炎い なるうと生むなり。

そのまゝ 犬は人の守りの成る者なり、  
人の為は 犬は在り、  
通言かのう？

犬は人次第、  
人も犬次第……



さて、あなたに知らぬ犬と人の要は世界才一筆まとい

犬は人同様要有り、前世有り、

根の怨念、怨念有り、

人、人を救う力有り、人を守る力有り、  
人、人を護る力有り、  
人の命と左右あり、  
力有り。

⑪

人は強し者、犬と己の強の味方と成すべきなり、  
その強には犬とより深く大きく知るべきなり、  
身と成すべきなり、  
犬と知らぬが故、知ったつもりであるが故、

思ゆぬ事故、災難不運

不幸と招くなり。



いぬのいのし  
犬 尊

いぬがみ  
犬 神

いぬがみ  
犬 神

いぬがみ  
犬 神

マコト名号

天地帝王

天日

天日

江籙名

神

日

天

天

旧、大日教本尊  
現、天地帝王会本尊

現ゆり 人類対象の  
幼稚園用才一筆重筆(原文)

イ

インターネット才一筆にてより多くの人と犬の  
上喜ぶばしき重筆キセキと授く身虫ふ事と望み  
筆と置くくおの成り

⑬



才二筆 以降と

乞 期待 あり

大神神社

Handwritten signature in cursive style, possibly reading 'Takasago' or similar, with a vertical line through it.

自筆原文

西暦二〇〇〇年 三月

(14)

—— 付 文 ——

当筆と通じ、津賀文、津祖殿等の津事絡あり  
有りました。が、個別の津返事に、忘じゆれり、お事  
場合は、直接の津返事は致しません。  
了承下さ。

石巻 謹



神  
 直  
 敷  
 等  
 一  
 月  
 二  
 日

石  
 文  
 直  
 敷

如  
 上  
 に  
 規  
 定  
 する。

第一  
 本  
 直  
 敷  
 石  
 文  
 直  
 敷

石文直敷

15



世には地上には無数に等しき

哀犬達 在り。

人の勝手都合にて哀犬達の  
溜り地上には在り。

溜り……？

童巻！……？

哀犬童巻！……！

「あんなの知らない」と人の実験世界」

「一筆」 哀犬童巻 地上に

現れる、と執筆 成りなり。





るに故

人ぞ言う

犬も人同様

人の身に多重人格症

症現れる、地上時代

るに故?

憑依

憑依

犬にも憑依

多重人格

人霊には彼養(先祖、そ者霊)有れど、犬一特に

哀犬には彼養無しも同様、又犬霊彼養良有り

てお建前彼養、法にかなぬ、つもり彼養通じあらず

地上の現象、すなわちそ犬霊に彼養通じあらず

まじり、哀犬世界はるふのこと、

哀犬霊彼養無地上、同様なり、

哀犬彼養良願

哀犬怨念重巻なり

哀犬怨念<sup>ニ</sup>要<sup>ス</sup>必<sup>ズ</sup>竟<sup>シ</sup>卷<sup>ル</sup>。一は目には見えぬ心も  
生<sup>キ</sup>まある。生<sup>キ</sup>犬の心身の上には「変・異」と言う形は現わ  
れるあり、<sup>然</sup>生<sup>キ</sup>犬の運命は「変ゆる」なり、

人には……人には最<sup>モ</sup>郷<sup>ニ</sup>言<sup>ハ</sup>は、？……

当然<sup>ニ</sup>有<sup>ル</sup>なり

哀犬供養願<sup>ハ</sup>は 哀犬あり人への世養願<sup>也</sup>なり、  
哀犬供養願<sup>ハ</sup>は 犬の心、人の心に通<sup>シ</sup>じ、故<sup>ニ</sup>に  
林<sup>ノ</sup>教<sup>ニ</sup>、すなわち 哀犬怨念<sup>ニ</sup>要<sup>ス</sup>必<sup>ズ</sup>竟<sup>シ</sup>卷<sup>ル</sup>、  
①⑨

心通<sup>シ</sup>ぬが故<sup>ニ</sup>に力<sup>チカラ</sup>にて、あり、

人と人、言<sup>ハ</sup>えど心通<sup>シ</sup>ぬが故<sup>ニ</sup>、  
犬の心、人の心には、  
人が至<sup>ル</sup>、犬が送<sup>リ</sup>の地上、  
哀犬の心……心、どこに、の地上現<sup>レ</sup>るなり、



意天怨念~~要~~、より幾大？...とこの身と  
守る法、どこに有る

言葉、業や文章の上には、簡単、真の培養  
なれど、現実は、...むざむざか、しい。

あるその知らぬの、大と人の要、世界、オノ筆

分録、哀大要、童卷、如上に現れる。

~~五劫~~、大神、言あり

心と、通いぬせ、或り、通るせ、或り

納得、からう、本、見、自、茶、進、?

茶、進、?、あくまで、茶、進、?、の、世、は  
ある、なれど、...



まじり真の祭祀本は「哀犬豊石」成り。

人の目には入れぬが、今だからそ合掌  
成りなる身あらず、線香一本ごころ  
か足、上ある身あらず、

とえ

自称、愛犬象、犬好き、又、  
犬業界人、いえど、心無、これ  
世の現象、人の現象……

②

犬神、重ぬて言わく

と判進、?の世、人、なれど、

犬の顔見らば哀れなるか故





梅の花 陽春 2000年 三月 地上は春 白けれど、  
 犬の心は嚴冬 ..... 石を 石を 心重く 冷たく 沈み



行くのみ  
 有る犬は 珠光  
 犬も 犬世界 蕃外 地  
 あゝ、世は、人も、犬も、  
 空、お色も  
 (運も 体も、運界も 現界も)  
 ぬまくる  
 犬も人も其れ  
 まくる

何も  
 カに  
 空  
 空  
 空





大神、思ふ、  
金、求む、の、前、に、  
大神、養、ふ、れ、ど、  
人、は、通、い、ず、か、た、あ、る、ま、い、の、教、え、  
本、教、の、地、上、  
や、も、う、得、ず、  
地、上、

大神、思ふ、  
金、求む、の、前、に、  
大神、養、ふ、れ、ど、  
人、は、通、い、ず、か、た、あ、る、ま、い、の、教、え、  
本、教、の、地、上、  
や、も、う、得、ず、  
地、上、

大神、思ふ、  
金、求む、の、前、に、  
大神、養、ふ、れ、ど、  
人、は、通、い、ず、か、た、あ、る、ま、い、の、教、え、  
本、教、の、地、上、  
や、も、う、得、ず、  
地、上、



犬聖も、力の時代。

犬神社は力の神社 名付けて

犬神聖神社 略して 犬聖神社

犬聖社 助けを求むる犬聖うまぐ犬聖社  
助けを願う犬聖童巻やしろ。

犬神は発信者、全世界へ。インターネット。  
②

人 金 求むる利に 哀天 聖使養 成せ、と  
善 成さずんば 善く居りなす  
求むるのサにはキに入らざら

当書「インターネット」の「哀天聖使養」は人によりては  
おち出の小橋よか 成る聖使養も真かあ、？、



理由

供養願本 成るが故 成り 哀犬山の悲願本  
 成るが故 成り すなわち  
 犬の悲願 成るが故 成り 犬も又 その身には  
 その分 目 成り 成り 成り  
 哀犬は供養と悲願 人は金の悲願 病願  
 縁結が願 縁切が願 と万願有り  
 想いられる身には想い 又 成る

(25)

※ 犬には「思」の一文 成る 成り 成り。

世界に、地上に、うずまき 哀犬悲願 哀犬の山は  
 当 哀犬 遺石 号真 凝固 成り 成り  
 遺感 産之身 遺能力 有身 成り 成り  
 当 哀犬 遺石 号真 が広く 全世界に 成る 成り  
 成り 成るは 全この 哀犬 成り 成り



「哀犬<sup>レ</sup>眞<sup>ニ</sup>分<sup>ル</sup>眞<sup>ニ</sup>成<sup>リ</sup>」この眞眞「眞<sup>レ</sup>眞<sup>レ</sup>示<sup>レ</sup>現<sup>ニ</sup>眞<sup>ニ</sup>成<sup>リ</sup>」  
 向う人の心<sup>（心）</sup>行<sup>（行）</sup>に依<sup>（依）</sup>いたる眞<sup>（眞）</sup>現<sup>（現）</sup>ありしる眞<sup>（眞）</sup>眞<sup>（眞）</sup>眞<sup>（眞）</sup>  
 成<sup>（成）</sup>り。善<sup>（善）</sup>き眞<sup>（眞）</sup>眞<sup>（眞）</sup>成<sup>（成）</sup>り。受<sup>（受）</sup>けられる身<sup>（身）</sup>世界<sup>（世界）</sup>ト云  
 まらん事<sup>（事）</sup>と大神<sup>（大神）</sup>望<sup>（望）</sup>むもの成<sup>（成）</sup>り

※ 善<sup>（善）</sup>き眞<sup>（眞）</sup>眞<sup>（眞）</sup>成<sup>（成）</sup>り。授<sup>（授）</sup>けりえの道<sup>（道）</sup>。オ一歩

「哀犬<sup>レ</sup>眞<sup>ニ</sup>分<sup>ル</sup>眞<sup>ニ</sup>成<sup>リ</sup>」と「哀犬<sup>レ</sup>眞<sup>ニ</sup>分<sup>ル</sup>眞<sup>ニ</sup>成<sup>リ</sup>」本尊<sup>（本尊）</sup>と成<sup>（成）</sup>り

「哀犬<sup>レ</sup>眞<sup>ニ</sup>分<sup>ル</sup>眞<sup>ニ</sup>成<sup>リ</sup>」へまが「一歩」

②⑥

眞<sup>（眞）</sup>眞<sup>（眞）</sup>成<sup>（成）</sup>り。本<sup>（本）</sup>利<sup>（利）</sup>益<sup>（益）</sup>希<sup>（希）</sup>陰<sup>（陰）</sup>。喜<sup>（喜）</sup>び。悲<sup>（悲）</sup>しみは  
 人<sup>（人）</sup>それそれの心<sup>（心）</sup>行<sup>（行）</sup>次第<sup>（次第）</sup>成<sup>（成）</sup>り。

※ 眞<sup>（眞）</sup>眞<sup>（眞）</sup>分<sup>（分）</sup>眞<sup>（眞）</sup>成<sup>（成）</sup>り。文字<sup>（文字）</sup>分<sup>（分）</sup>眞<sup>（眞）</sup>成<sup>（成）</sup>り

名前<sup>（名前）</sup>分<sup>（分）</sup>眞<sup>（眞）</sup>成<sup>（成）</sup>り。故<sup>（故）</sup>に眞<sup>（眞）</sup>眞<sup>（眞）</sup>成<sup>（成）</sup>り。文字<sup>（文字）</sup>名<sup>（名）</sup>分<sup>（分）</sup>眞<sup>（眞）</sup>成<sup>（成）</sup>り。  
 眞<sup>（眞）</sup>力<sup>（力）</sup>眞<sup>（眞）</sup>眞<sup>（眞）</sup>成<sup>（成）</sup>り。成<sup>（成）</sup>り。規<sup>（規）</sup>ゆれるもの成<sup>（成）</sup>り。

全この早真の運宿りある事あり。自然的に  
この書に大神神社、大神の筆は、犬、専内と界故  
犬の運を主と成りあり。

犬の早真は運有り、早真すなわち分運体あり  
故に、犬の早真(全この犬の早真)は、犬運力現れりあり

今は体業なきと犬早真、生有す生犬早真、共に  
運力現れりあり。善き悪きは別として……

犬の早真は人の身、運命にものと言ふ。もう一つ  
犬の早真は人の身、運命に、大なる影響を有す。あり  
もちろん、善し悪しは別として……

善き事もあり、悪しき事もあり、あり。

次ページに大神神社の早真と現れし体業体業  
果実者ともあるもの成りあり。





早夏集  
ソー

早夏集  
ソー



(NO1)

当(401)の早真(犬)は、  
その様、犬の様と

夏夜のおま、  
早真、

夏夜、  
夏能力有る身  
この早真は、

早夏集、  
早夏集、  
早夏集、  
早夏集、

早夏集、  
早夏集、  
早夏集、  
早夏集、





(No3)



(No2)

※身命をゆか、る。成り、  
 後方より車真成る事は、  
 。車真より、炎守期限は有限  
 成り。

炎守り、交通安全の要方治符、?

「(No2)の車真は身の炎(車の炎)守りの  
 炎守り大車真成り、交通安全を願う身、  
 車に添付、成せばまレ  
 車 添付の位置  
 (No2)の車真と前フロントガラス、(No3)と後部ガラス  
 「炎守り」には、大難が中難、中難が小難  
 小難が大難、人によりとは(守り加減)  
 大難は止難、人により異差有り、  
 29



(No 4)

(No4) の号真は人の身、犬の身共に奇病快方  
願う号真あり、

(No5) の号真は人の身、犬の身共に延命を  
願う号真あり、

号真に<sup>そと</sup>有<sup>あり</sup>、<sup>れい</sup>有<sup>あり</sup>、<sup>ま</sup>有<sup>あり</sup>、<sup>ま</sup>現<sup>あら</sup>ゆる、

念せば分るあり、

あるなり知らるなり、犬と人の<sup>ま</sup>世界、<sup>ま</sup>号真<sup>ま</sup>世界、<sup>ま</sup>号真<sup>ま</sup>教  
米山<sup>ま</sup>一<sup>ま</sup>角<sup>ま</sup>教<sup>ま</sup>示<sup>ま</sup>あり、

犬神神社<sup>ま</sup>号真<sup>ま</sup>筆<sup>ま</sup>世界<sup>ま</sup>んと<sup>ま</sup>ぶ、  
<sup>ま</sup>号<sup>ま</sup>名<sup>ま</sup>と<sup>ま</sup>共<sup>ま</sup>に、

犬と人の号真の幸と望み、

犬神神社<sup>ま</sup>号真<sup>ま</sup>筆<sup>ま</sup>美<sup>ま</sup>才<sup>ま</sup>一<sup>ま</sup>筆<sup>ま</sup>「分録」ああり、



(No 5)



—— 時 試 し 方 法 ——

—— 時 試 し 方 法 ——

ソコ

あなた方の愛犬には今のあなたの身の不調、身の病に  
 要力現れしそくれませう。要能力  
 有るものも？ (一部の犬には有ります)  
 お話しなさいますか？

—— 時 試 し 方 法 ——

③

あなた方の愛犬の正画(顔)写真に、線香三本を立て

〇〇ヤ (犬の名前) この身の病 (又は、身の不調) と  
 薬に成しくれる要力あらば、この身々をえ  
 ゆずかであらうとも薬に成しくれ

〇〇要力 〇〇要力 (〇〇〇〇犬の名前) と予一回以上唱える。  
 〇〇要力 (〇〇〇〇犬の名前) と予一回以上唱える。

→ 期間、一日一回 三日〜一週間



※「**重能力強化**」と望む方は、**愛犬の正面(顔)写真**

「**救済**」**犬神社**に送ります。

**重能力強化**とある方の**愛犬の写真**に致し「救済」

とある方の**愛犬の写真**に致し「救済」

とある方の**愛犬の写真**に致し「救済」

とある方の**愛犬の写真**に致し「救済」

とある方の**愛犬の写真**に致し「救済」

とある方の**愛犬の写真**に致し「救済」

とある方の**愛犬の写真**に致し「救済」

とある方の**愛犬の写真**に致し「救済」

とある方の**愛犬の写真**に致し「救済」

とある方の**愛犬の写真**に致し「救済」

犬神社  
**重犬友の会** 室。

32

※ **キヤリ**、**神利益**、**神陰**をいさぐわれ

ました方々へは

**犬神社**の方へお**奉志**し、**奉奉**等

アツシク。

—— 等 筆 ソノニ ——

大神神社 肉係所に成犬若犬の

ドッグマン エピソード ドック平教員 (ドッグマンニ頭) が

おりますが、遠くまで世話を焼く伝いの場所を募集致さうかと

思案中です。もし愛犬家、大好きの場所の中にて

かみが向かれます。場所があられましたらば、…… (厳選はさせていただきますが、……)

正々募集は、次の機会に発行させていただきます。

—— 特 し 筆 ソノニ ——

当大神神社 筆は今後続編と発進させていただきます。

本「ドッグマン」が、また次第一本「出版の予定も致してあり

ます。本「出版に因りまして、お力下さいます。場所々があら

れましたらば、幸いです。……

執筆 堂、より、

後述  
犬神神話  
直江兼光文集  
清希望の清言々々

清神リビ  
サノヲ

- 。 FAX (平日時向受付) 〇九六七一七五ー〇六八七
- 。 犬神神社ホームページ
- 。 郵便

金はコピー一枚当り二百丹です、コピー一冊一〇枚の  
場合、二冊です。(送料込み)

清支松の、方法は「郵便振替」です。

犬神神社 神田美弘  
(書) 記号、一七二〇〇、番号、二八六八二七七一

犬神神社  
熊本県上益城郡甲佐町大字存領字  
北原新二一八二一  
へん(教)集



大神神社



—— 才一筆 付録、特公筆付 ——

2000年 三月

35